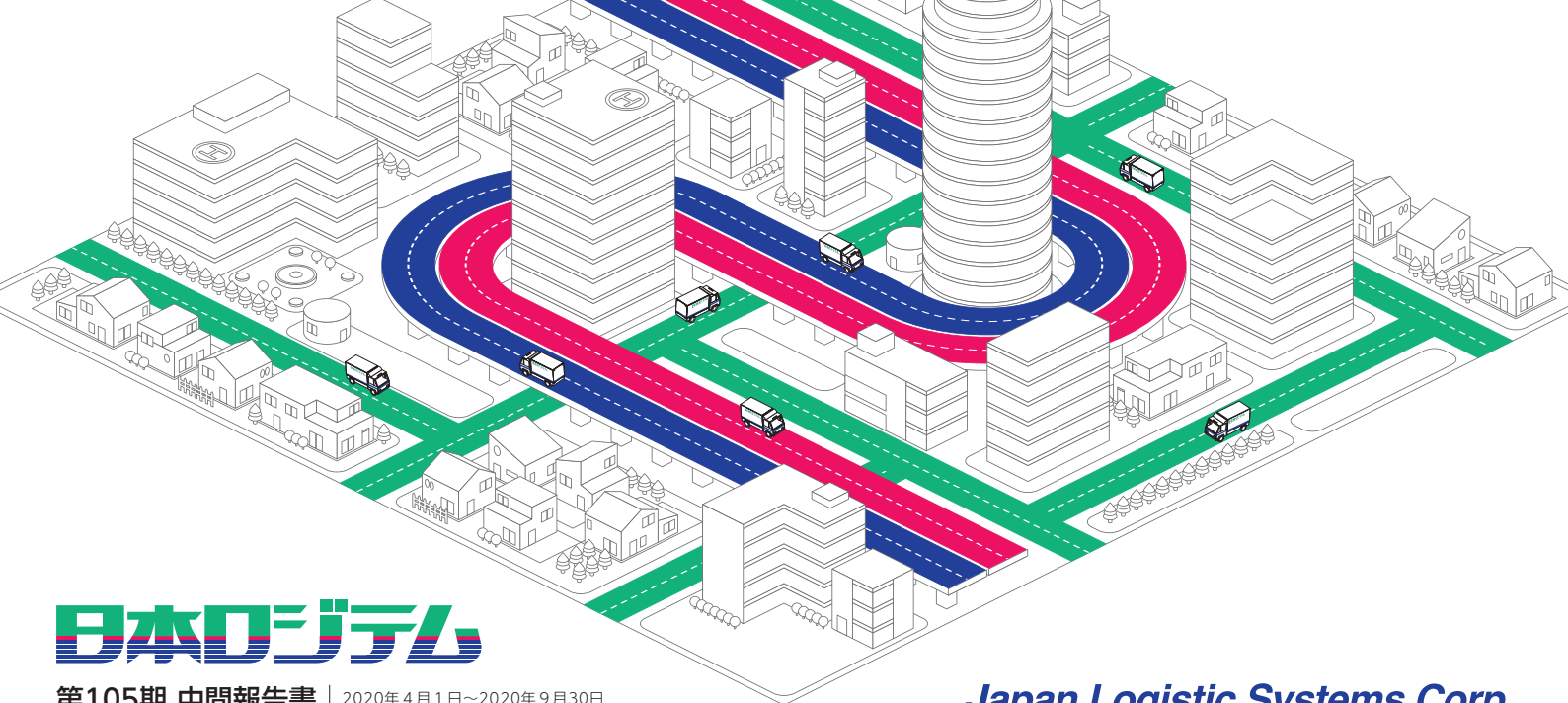




日本ロジテム

第105期 中間報告書 | 2020年4月1日～2020年9月30日

Japan Logistic Systems Corp.

株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
第105期の中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

代表取締役社長
中西弘毅

2020年12月

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により景気が悪化し、厳しい状況が続きました。緊急事態宣言解除後は、社会経済活動の正常化が段階的に進み、景気の持ち直しが期待される一方で、感染症の再拡大に対する懸念が高まるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する物流業界につきましては、「巣ごもり需要」などにより一部企業の荷動きが比較的好調であったものの、生産活動の停滞や個人消費の落ち込み等により、取扱数量は総じて低調となるなど、取り巻く環境は厳しいものでありました。

このような状況の中、当社グループは新たな中期経営計画2022（2020年度から2022年度まで）においてテーマとした「強固な収益基盤づくり」および「環境変化に適応できる体制づくり」に向けて取り組みを開始いたしました。予想もしない環境下でのスタートとなりましたが、当社グループが安定した発展を継続していくための不可欠な課題と認識し、着実に推進してまいります。

当第2四半期連結累計期間は、感染症対策に万全を期しつつ、物流企業としての社会的使命を忠実に果たしていくことに、グループで総力をあげて取り組んでまいりました。当社グループといたしましては、安定したオペレーション体制の確保と全社員が安全に不安なく働くことができる環境の確保に向けて、必要な投資も適宜実施し可能な限りの対策を講じた結果、業務運営におきましては大きな混乱を招くことなく推移いたしました。

わが国経済の先行き・感染症収束の見通しについては不透明であります。今後の状況の変化に対して的確な対応を図ることに努め、株主の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様の信頼・期待にお応えできますよう経営に邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

日本ロジテムグループは、「日本一信頼される企業グループ」を目指し、ステークホルダーの皆様からより一層の信頼を得られるよう、グループ一丸となって業務に邁進してまいります。

第105期第2四半期の状況

国内につきましては、通販関連をはじめ得意先との取引深耕に注力し営業拡大を図るとともに、前連結会計年度に開設した拠点の安定稼働に取り組みました。また、新たな営業展開に向け、埼玉県坂戸市および神奈川県平塚市に開設を予定している新拠点の準備を進めました。さらに、新設した「AI・IoT推進課」が中心となり、物流事業の省人化・効率化に資する先端技術の活用を検討いたしました。

海外につきましては、ベトナムにおいて、ホーチミン市近郊に建設した新倉庫に既存倉庫の機能を集約し、南部エリアの体制整備を進めました。また、タイにおいて新拠点が稼働を開始するなど、各進出国での営業活動を推進いたしました。

これらの取り組みにより、営業収益は、感染症の影響による海外事業の停滞、インテリアやアパレル等の荷動き低下があったものの、通販関連の取扱量が増加したこと、新規得意先の業務開始等によりアセット事業が拡大したことなどから、増収となりました。一方、営業利益および経常利益は、センター事業において流通加工業務の減少等により損失となったほか、海外において営業収益の減少に伴い利益が縮小したこと、さらに感染症対策に関連する費用が発生したことなどから、減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、減損損失を計上した前年同期と比べ特別損失が減少したものの、経常利益の減少に伴い減益となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は263億40百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は3億33百万円（前年同期比33.6%減）、経常利益は3億46百万円（前年同期比33.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億94百万円（前年同期比4.3%減）となりました。

主要な事業内容と業績

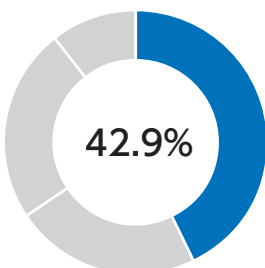
貨物自動車運送事業

営業収益 112億85百万円
（前年同期比1.2%増）

事業内容：自社および協力会社のトラック等を使用して貨物の運送サービスを提供する事業

●企業集団の事業用車両（貨物自動車）：973両
（うち当社の事業用車両：232両）

営業収益 事業別構成比



需要の拡大により食品や通販関連の輸送量が増加したことに加えて、料金適正化への取り組みが進捗したこと、配送効率向上を進めた効果があったことなどから、増収となりました。

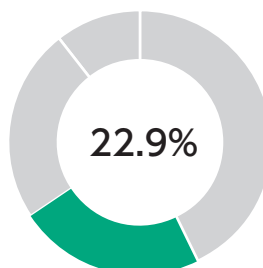
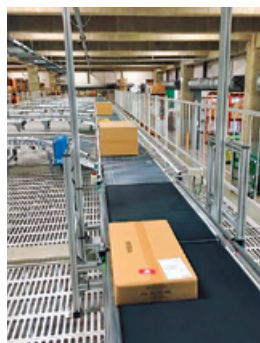
その結果、営業収益は、112億85百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

センター事業

営業収益 60億29百万円
（前年同期比0.6%増）

事業内容：倉庫・配送センターにおいて入出庫等の荷役、流通加工（組立、裁断、梱包等）、事務代行（受注代行、在庫管理等）などの業務を提供する事業

営業収益 事業別構成比



通販関連の取り扱いが伸長し入出荷量が増加したことなどから、増収となりました。

その結果、営業収益は、60億29百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

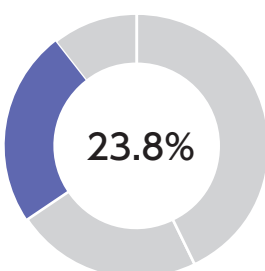
アセット事業

営業収益 62億75百万円
（前年同期比8.1%増）

事業内容：倉庫における保管業務のほか、配送センターなどの不動産賃貸および仲介を行う事業

●企業集団の倉庫および配送センターの面積：982,784.570㎡
（うち当社の倉庫および配送センターの面積：747,362.270㎡）

営業収益 事業別構成比



通販関連の保管面積が拡大したほか、前連結会計年度に開設した拠点を中心に新規得意先の保管業務等を開始したことなどから、増収となりました。

その結果、営業収益は、62億75百万円（前年同期比8.1%増）となりました。

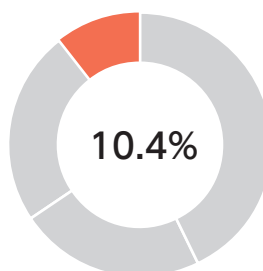
その他事業

営業収益 27億49百万円
（前年同期比7.6%減）

事業内容：引越移転事業、施工関連事業、輸出入貨物取扱事業、通関事業、港湾運送事業、労働者派遣事業、物品販売業、総合リース業、旅客自動車運送事業等

●企業集団の事業用車両（旅客自動車）：620両

営業収益 事業別構成比



国際貨物の荷動き停滞に伴い国内外で輸出入関連事業が縮小したほか、施工関連事業および海外における旅客自動車運送事業が低調な推移となったことなどから、減収となりました。

その結果、営業収益は、27億49百万円（前年同期比7.6%減）となりました。

社会情勢の急激な変化に対応しつつ、中期経営計画における基本戦略、「既存事業の強化」「新たな収益の創造」「経営基盤の強化」「人財力の向上」に取り組み、企業力の強化を図っております。

トピックス

組織機構を変更し、先端技術導入を推進

当社グループは、業務の効率化および先端技術導入推進を図るため、2020年4月1日付で新たに「AI・IoT推進課」を設置いたしました。

産業界全体において、近年のIT技術の進歩によるビッグデータの収集・蓄積ならびにディープラーニングによる解析技術の急速な発展により、様々な課題克服の手段として、AI技術の活用が期待されております。物流業界においても、IoTを通じて収集した物流データを活用することで、物流業界独自のAI技術の発展がさらに加速すると考えられております。

当社におきましては、物流業務におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）、ロボティクスを推進し、AI・IoTをはじめとする先端技術の導入を推進し、物流システムを再構築・最適化する技術の蓄積と、先端技術の活用に関するノウハウの蓄積を進めてまいります。これにより、業務の省人化・効率化を推進し、人手不足や高齢化といった課題に取り組むとともに、未来を見据えた得意先の物流ニーズに対応してまいります。

埼玉・神奈川エリアの営業拠点を拡充

当社グループは、市場の動向を踏まえながら、得意先ニーズに応えるため、戦略的な拠点展開を推進しております。

国内における今期の拠点展開としましては、2021年2月、埼玉県坂戸市に「坂戸営業所」の開設を予定しております。同拠点は、近隣の事業所である鶴ヶ島営業所（埼玉県鶴ヶ島市）において業務が拡大していること、今後も埼玉エリアは底堅い物流ニーズが見込めることから、さらなる事業の拡大を目指し開設することといたしました。

また2021年4月には、神奈川県平塚市に大規模な拠点となる「平塚営業所」の開設を予定しております。同拠点も事業の拡大を目的としておりますが、その拠点規模を活かして、神奈川エリアの拠点再編を進め、業務の効率化も図る計画であります。

両拠点とも開設準備室を設置しており、円滑な立ち上げに向けた準備を進めております。



坂戸営業所



平塚営業所 完成予想図

ベトナム事業の強化に向け、南部エリアの体制を整備

当社グループにおける海外事業の中核地域であるベトナムは、経済成長とともに物流市場の拡大が進む中、日系物流企業の進出や現地物流企業の台頭もあり、近年は厳しい競争環境が続いております。

そのような環境下において、当社100%子会社であるロジテムベトナムコーポレーションは、競争力と業務推進力の強化を図るため、体制の再整備に取り組んでおります。昨年度行ったベトナム中部エリアのダナン市における拠点開設に続き、本年度は、ベトナム南部エリアのビンズン省（ホーチミン市近郊）において自社倉庫を建設し、稼働いたしました。同倉庫は、既存倉庫の機能を集約しており、業務の効率化を推進しながら事業の強化を図っております。



ロジテムベトナムコーポレーション サウスロジスティクスセンター

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	前連結会計期間末 (2020年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (2020年9月30日)
(資産の部)		
流動資産	12,237,061	12,235,339
固定資産	25,993,422	26,663,232
有形固定資産	16,796,641	17,316,811
無形固定資産	972,298	970,793
投資その他の資産	8,224,483	8,375,628
資産合計	38,230,484	38,898,572
(負債の部)		
流動負債	13,547,878	13,151,975
固定負債	13,491,758	14,514,013
負債合計	27,039,637	27,665,988
(純資産の部)		
株主資本	11,521,193	11,660,388
その他の包括利益累計額合計	△437,060	△535,852
非支配株主持分	106,714	108,047
純資産合計	11,190,846	11,232,583
負債・純資産合計	38,230,484	38,898,572

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 (2019年4月1日～ 2019年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (2020年4月1日～ 2020年9月30日)
営業収益	25,930,537	26,340,286
営業原価	24,141,219	24,763,819
営業総利益	1,789,318	1,576,466
販売費及び一般管理費	1,286,947	1,242,808
営業利益	502,370	333,658
経常利益	516,959	346,216
特別利益	86,339	36,293
特別損失	191,593	13,804
税金等調整前四半期純利益	411,704	368,706
法人税等合計	204,478	173,834
四半期純利益	207,226	194,871
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,444	725
親会社株主に帰属する四半期純利益	202,782	194,146

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 (2019年4月1日～ 2019年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (2020年4月1日～ 2020年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,069,741	189,475
投資活動による キャッシュ・フロー	△572,986	△1,102,517
財務活動による キャッシュ・フロー	△252,385	685,468
現金及び 現金同等物に係る換算差額	△39,146	△30,083
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	205,221	△257,657
現金及び 現金同等物の期首残高	2,781,625	3,058,448
現金及び 現金同等物の四半期末残高	2,986,847	2,800,790

詳しい財務情報はHPをご覧ください
<http://www.logitem.co.jp/ir>

会社概況

役員 (2020年9月30日現在)

取締役

代表取締役社長	中 西 弘 毅
常 務 取 締 役	小 倉 章 男
常 務 取 締 役	宮 村 隆 二
常 務 取 締 役	飯 野 毅
取 締 役	飯 島 隆
取 締 役	石 井 眞 也
取 締 役	佐々木 利 昌
取 締 役	中 西 伸次郎
取 締 役	滝 原 賢 二 (社外取締役)

監査役

常 勤 監 査 役	上 田 誠一郎 (社外監査役 独立役員)
監 査 役	松 浦 康 治 (社外監査役)
監 査 役	与 田 俊 和 (社外監査役 独立役員)
監 査 役	齊 木 秀 一 (社外監査役)

執行役員

常務執行役員	小 倉 章 男 (総合企画本部長 兼 グローバル事業本部副本部長)
常務執行役員	宮 村 隆 二 (管理本部長)
常務執行役員	飯 野 毅 (品質管理本部長)
上席執行役員	飯 島 隆 (グローバル事業本部長)
上席執行役員	石 井 眞 也 (阪神ロジテム株式会社 代表取締役会長)
上席執行役員	佐々木 利 昌 (営業本部長)
上席執行役員	中 西 伸次郎 (営業本部副本部長 兼 通販営業部長 兼 営業開発部長)
上席執行役員	升 久 信 幸 (管理本部副本部長)
上席執行役員	川 口 要 (経理部長)
上席執行役員	上 田 毅 (総合企画部長 兼 秘書室長)
執行役員	廣 田 康 夫 (営業本部副本部長 兼 業務部長)
執行役員	千 葉 尚 道 (国際事業部長)
執行役員	島 森 憲 之 (営業戦略部長)
執行役員	鈴 木 康 弘 (関連企業部長)
執行役員	都 築 守 美 (ロジテムベトナムホールディングス 代表取締役社長)
執行役員	橋 本 政 博 (総務部長)

従業員の状況 (2020年9月30日現在)

企業集団の従業員数: 3,784名 (注) 1. 当社および連結子会社の従業員数の合計を記載しております。
2. 従業員数は就業人員であり、臨時従業員 (1,515名) は含まれておりません。

当社の従業員数: 841名 (注) 従業員数は就業人員であり、臨時従業員 (1,129名) は含まれておりません。

ネットワーク

日本ロジテムおよび国内関係会社

関東

【東京】
中央営業所
羽田営業所
三幸営業所
大井営業所
有明営業所
新砂営業所
ロジテムエージェンシー株式会社
ロジテムインターナショナル株式会社
株式会社ロジテム軽貨便
ロジテムエンジニアリング株式会社
ロジスメイト株式会社

【埼玉】

川口営業所
所沢営業所
鶴ヶ島営業所
吉見営業所

【千葉】

千葉営業所
船橋営業所
柏営業所
野田営業所
ロジテムトランスポート株式会社

【茨城】

茨城営業所

【神奈川】

横浜第一営業所
横浜第二営業所
綾瀬営業所
藤沢営業所
厚木営業所
東名厚木営業所
伊勢原営業所
厚木西営業所

近畿・中国・四国

【大阪】

高槻営業所

【兵庫】

阪神ロジテム株式会社
阪神ロジサポート株式会社

九州

【福岡】

福岡ロジテム株式会社

東北

【宮城】
仙台倉庫

【福島】

郡山センター

中部

【静岡】

静岡営業所

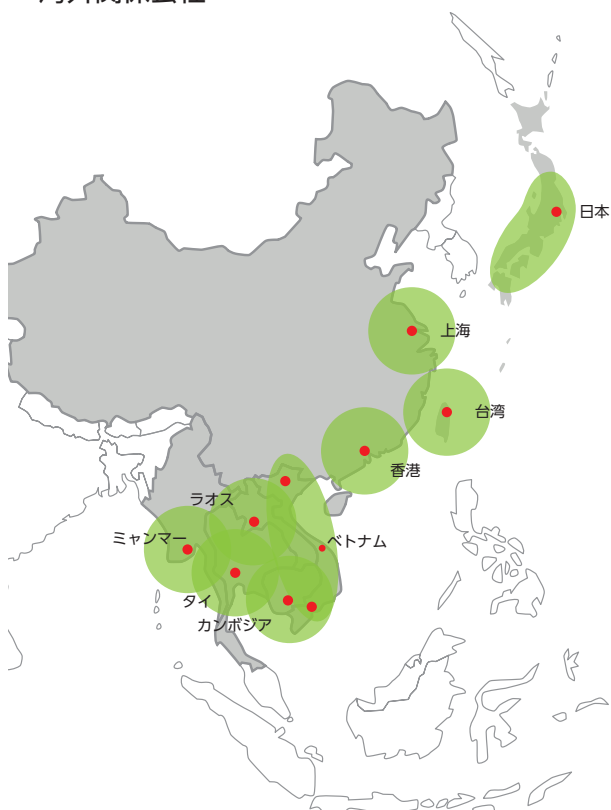
【愛知】

名古屋営業所
半田営業所
稲沢営業所



日本ロジテム厚木西営業所

海外関係会社



【台湾】

LOGITEM TAIWAN CO., LTD. (千日股份有限公司)

【香港】

LOGITEM HONG KONG CO., LTD.

【タイ】

LOGITEM (THAILAND) CO., LTD.

LOGITEM TRADING (THAILAND) CO., LTD.

【ベトナム】

LOGITEM VIETNAM HOLDING & INVESTMENT COMPANY LIMITED

LOGITEM VIETNAM CORP.

LOGITEM VIETNAM NORTH SERVICE CO., LTD.

LOGITEM VIETNAM SOUTH SERVICE CO., LTD.

LOGITEM VIETNAM TRADING CO., LTD.

L&K TRADING CO., LTD.

CLK COLD STORAGE COMPANY LIMITED

【中国（上海）】

LOGITEM SHANGHAI CORP. (洛基泰姆（上海）物流有限公司)

【ラオス】

LOGITEM LAOS GLKP CO., LTD.

【ミャンマー】

LOGITEM MYANMAR CO., LTD.

【カンボジア】

LOGITEM (CAMBODIA) CO., LTD.



ロジテムタイランド
(パンナーロジスティクスセンター)

株式の状況 (2020年9月30日現在)

- 発行可能株式総数…………… 3,900,000株
- 発行済株式の総数…………… 1,383,310株
- 株主数……………1,551名

大株主

株主名	持株数	持株比率
日清製粉株式会社	281,200株	20.6%
一般社団法人富士桜の会	243,200株	17.8%
有限会社ジェイエフ企画	163,984株	12.0%
株式会社日清製粉グループ本社	69,200株	5.1%
日本ロジテム従業員持株会	40,728株	3.0%
黒岩 千代	25,700株	1.9%
株式会社みずほ銀行	14,000株	1.0%
株式会社商工組合中央金庫	11,000株	0.8%
中西 弘毅	10,600株	0.8%
株式会社三菱UFJ銀行	10,000株	0.7%
東京海上日動火災保険株式会社	10,000株	0.7%

(注) 1. 当社は、自己株式14,967株保有しておりますが、当該株式には議決権がないため、上記大株主から除外しております。
2. 持分比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当の基準日	期末配当の基準日 3月31日 中間配当の基準日 9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 (http://www.logitem.co.jp) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引所名 および市場名	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) 市場
証券コード	9060
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

<株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について>

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続取扱店 (住所変更・株主配当金受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店 *トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払		みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

<特別口座について>
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用していなかった株主様には、株主名簿管理人である上記のみずほ信託銀行株式会社に口座 (特別口座といいます) を開設いたしました。
特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話お問合せ先をお願いいたします。

株主還元

【配当情報】

当社は、株主の皆様に対する安定した配当の継続を経営の最重要課題の一つとして位置付けており、業績の進展状況や配当性向等を勘案し、利益配分に積極的に取り組んでいく方針です。内部留保につきましては、今後の事業展開などの投資等に充てることにより、業績の向上に努め、財務体質の強化を図ってまいります。

【株主優待制度のご案内】

毎年3月31日現在の株主名簿に記録された1単元 (100株) 以上ご保有の株主様を対象に、当社顧客の商品を年1回贈呈いたします。

ご保有株式数

1単元 (100株) 以上10単元未満 (1,000株) 未満
10単元 (1,000株) 以上

3,000円相当の商品
5,000円相当の商品

1株当たり配当金

	2020年3月期	2021年3月期
年間配当金	80円	80円 (予定)
中間配当金	40円	40円
期末配当金	40円	40円 (予定)



〒105-0004 東京都港区新橋5-11-3 新橋住友ビル
TEL. 03-3433-6711 FAX. 03-3437-0145

2020年6月にお送りした3,000円相当の商品
(アサヒビールグループ商品、日清製粉グループ取扱商品、フジッコ商品詰め合わせ)